参考様式第１－46号

Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅ・Ｆ

行方不明が判明した際の状況説明書

提出者（監理団体名又は実習実施者名）

　 行方不明となった技能実習生に係る直近３か月分の技能実習日誌等は別添のとおりです。

行方不明が判明した際の状況について、以下のとおりです。

|  |
| --- |
| １　「行方不明者」の技能実習計画認定番号　　　認　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| ２　行方不明時点における「行方不明者」の実習実施場所名称及び所在地　（一時的に作業を行う受注現場や出張先で行方不明が発生した場合であっても、行方不明者が直近で作業を行っていた場所を記載してください。）実習実施場所（事業所等）名称　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　実習実施場所所在地　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| ３　「行方不明者」に関する直近３か月分※の作業内容及び報酬（賃金）の支払状況等が確認できる書類の写し（添付した書類名の□に✓を付してください。）※賃金支払日など、月次の締日の途中で行方不明が生じた場合は、直近満３か月分が確認できるよう提出してください。 |
| 作業内容及び実習時間 | □ 認定計画の履行状況に係る管理簿□ 技能実習日誌□ 出勤簿・タイムカード（実習日誌以外に実習（労働）時間を記録したもの） |
| 報酬（賃金）の支払状況 | □ 賃金台帳□ 預貯金口座へ賃金を振込した記録・振込依頼書控□ 報酬支払証明書（現金手渡しの場合に技能実習生の受領署名があるもの） |
| ４　「行方不明者」に関する手がかり |
| （１）最後に行方不明者の所在を確認した状況 | ア　日　時　　　　　　年　　　月　　　日　　　時頃イ　確認者 [ ] 監理団体職員　[ ] 実習実施者職員　[ ] 他の技能実習生　　　　　 [ ] その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）ウ　確認した場所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| （２）行方不明となった原因 | ア　行方不明となった原因として考えられる事情①[ ]  実習先での事情　②[ ]  実習先以外での事情　③[ ]  分からない②上記で①又は②を選択☑した場合、考えられる事情の詳細 |
| （３）ブローカーの関与状況 | ア　行方不明者に対して他の仕事に勧誘する者がいたか　[ ] いた（可能性を含む）　[ ] いない・分からないイ　上記アで「いた」を選択☑した場合、得ている情報の詳細 |
| （４）行方不明者の行き先に係る情報 | ア　行方不明者の行き先について、情報を得ているか[ ] 得ている（思い当たる場合を含む）　[ ] いいえ・分からないイ　上記アで「得ている」を選択☑した場合、得ている情報の詳細 |